

2019年5月27日
日興アセットマネジメント株式会社



日興グローイング・ベンチャーファンド

当ファンドの特色と実績を改めてご紹介
～徹底的な企業調査が効果を発揮～

本レポートでは、当ファンドのポイントを改めてご紹介するほか、当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社である、エンジェルジャパン・アセットマネジメントのコメントをもとに、投資銘柄についての注目点や助言方針などをご紹介させていただきます。

ファンドの特色

ポイント①

1

高成長新興企業の株式に投資を行ない、信託財産の成長をめざします。

ポイント②

2

エンジェルジャパン*による徹底したボトムアップ・リサーチにより有望企業を厳選します。

3

エンジェルジャパン*から投資助言を受けます。

*エンジェルジャパン・アセットマネジメント

<設定来の基準価額(税引前分配金再投資ベース)および主要指数の推移>

2003年7月17日(当ファンド設定日前日)～2019年5月17日



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポイント①

高成長新興企業の株式に投資

投資対象

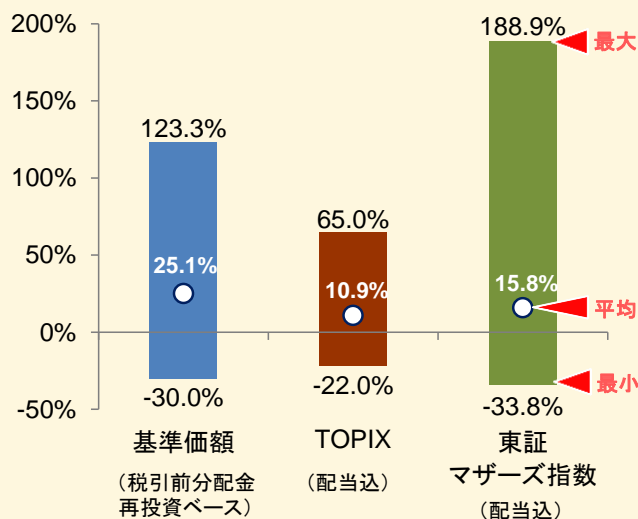
当ファンドは、主に企業の「発展」「成長」が最も期待できる
株式公開後5年以内の「高成長新興企業」
 に投資を行ないます。

【新興成長株投資の特徴】

上昇期待と下振れリスク

- 高成長新興企業は、新しい技術やビジネスモデルなどを背景に、大きく成長する可能性を秘めており、**株価の上昇期待が相対的に高い**と考えられます。
- 一方で、大型株と比べて値動きが激しくなる傾向があり、**下振れリスクも相応に大きい**と考えられます。

<1年リターンにおける最大・最小・平均>
 計算期間:2009年4月末~2019年4月末



新興株市場(マザーズ指数)は
 相対的に価格変動が大きくなる傾向に

期間内の各資産の1年リターンを各月末ごとに計算し、
 最大、最小、平均を算出

※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

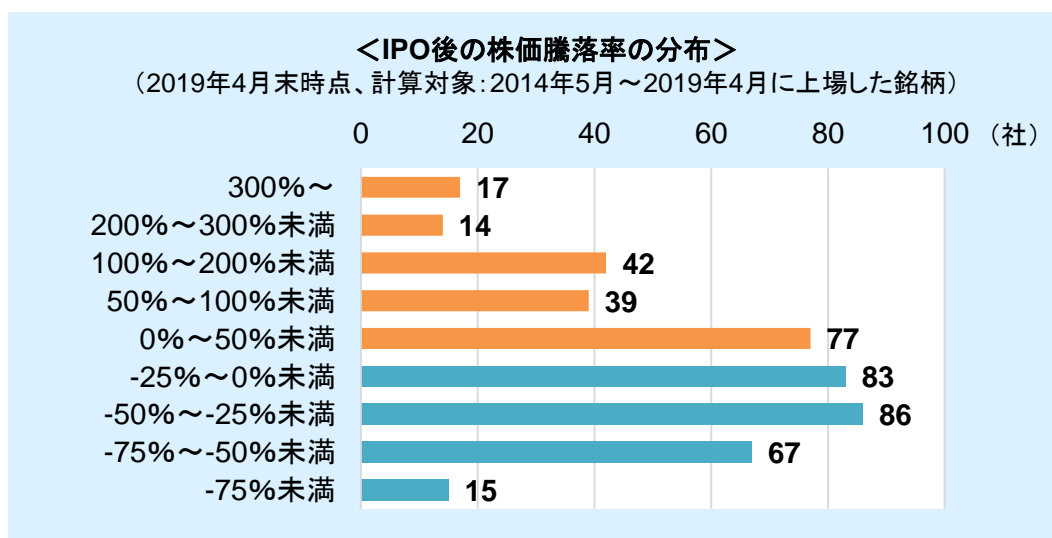
■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポイント①

高成長新興企業の株式に投資

【ご参考】新興企業の株価動向

- 直近5年間(2014年5月～19年4月)にIPO(株式の新規公開)を行なった銘柄の直近までの株価騰落率をみると、6割近くの銘柄がマイナスとなった一方、4倍以上に上昇した銘柄もみられます。
- 新興成長株への投資においては、**個別銘柄の選別が極めて重要**と考えられます。



＜上グラフの株価騰落率 上位5銘柄＞

順位	銘柄名	業種	上場日	騰落率
1	ジャパンエレベーターサービスホールディングス	サービス業	2017/3/17	913%
2	鎌倉新書	サービス業	2015/12/4	726%
3	ラクト・ジャパン	卸売業	2015/8/28	561%
4	ヤマシンフィルタ	機械	2014/10/8	544%
5	インソース	サービス業	2016/7/21	475%

＜上グラフの株価騰落率 下位5銘柄＞

順位	銘柄名	業種	上場日	騰落率
1	フルッタフルッタ	食料品	2014/12/17	-94%
2	グローバルウェイ	情報・通信業	2016/4/19	-86%
3	リアルワールド	情報・通信業	2014/9/18	-84%
4	GMO TECH	サービス業	2014/12/11	-84%
5	イノベーション	情報・通信業	2016/12/21	-82%

※株価騰落率は、各銘柄の公開初値および2019年4月末の終値から計算したものであり、銘柄によって期間が大きく異なります。
 ※2019年4月末までに上場廃止となった銘柄は計算対象外です。
 ※2019年4月末(4月26日)の終値が取得できない銘柄については、前営業日の終値を使用しています。

エンジェルジャパン・アセットマネジメントおよび信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポイント②

エンジェルジャパンによる徹底したボトムアップ・リサーチ

銘柄選別

当ファンドでは、ほぼ全てのIPO企業との個別直接面談を通じて、**新興成長株投資で重要な「徹底的な企業調査」**を行ない、「高成長新興企業」を厳選、抽出します。

- 新興成長株の値動きが大きい背景には、新興成長株ならではの特征があると考えられます。そのため、新興成長株投資においては、**徹底的な個別企業の調査が力を発揮する**と考えられます。

新興成長株の主な特徴

① 情報が行き届きにくい

新興成長株は、調査するアナリスト数が少ない傾向にあります。

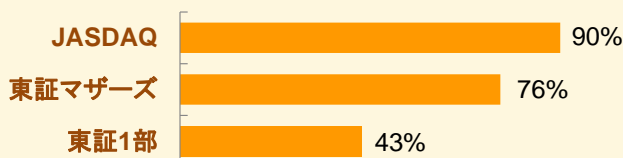
⇒ **徹底的な調査活動の継続が重要に**

② 事業環境の変化が激しい

成長が見込まれる企業ほど、事業環境の変化が激しく、株価の変動も大きくなる傾向があります。

⇒ **先行きを見極めるため、経営陣に対する定期的な個別直接面談の実施が重要に**

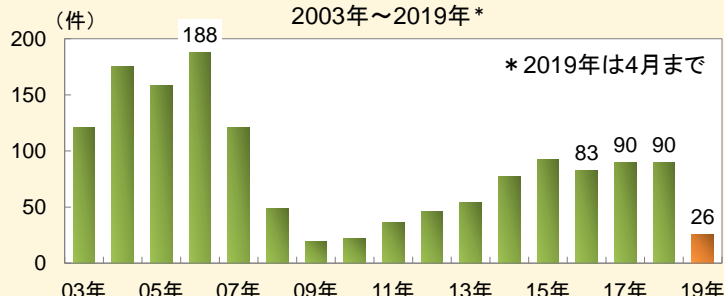
＜担当アナリストがない企業の割合＞
2019年3月末現在



エンジェルジャパン・アセットマネジメントの情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

- そこで、当ファンドでは、成長株に特化した独立系の投資顧問会社であるエンジェルジャパンが徹底したボトム・アップリサーチを行ない、有望企業を厳選しています。
- 企業調査にあたっては、経営陣との個別直接面談を重視しています。IPO(株式の新規公開)を行なった企業については、**ほとんど全ての企業と面談し**、革新的な企業とはその後も定期的に面談します。

＜IPO件数の推移＞
2003年～2019年*



エンジェルジャパン・アセットマネジメント

**面談が可能な
ほとんど全てのIPO企業と
個別直接面談を実施**

エンジェルジャパン・アセットマネジメントの情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポイント②

エンジェルジャパンによる徹底したボトムアップ・リサーチ

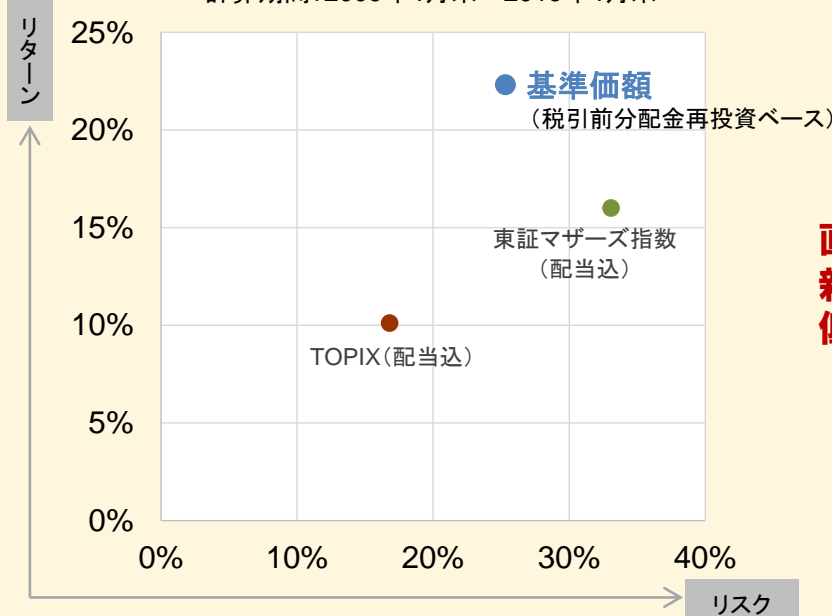
エンジェルジャパンの徹底した企業調査により

リスク抑制とリターン向上を実現

- エンジェルジャパンは、情報が限られる新興成長企業に対して、個別直接面談調査を積極的に実施することで、有望な企業を見極めることをめざしてきました。
- こうした調査活動や企業分析に基づく銘柄選別などが功を奏し、当ファンドはリスクを相対的に抑制しながらも、新興株市場よりも高いリターンを獲得してきました。

<基準価額および主要指数のリスク・リターン>

計算期間:2009年4月末~2019年4月末



直近10年間では
新興株市場よりも
低リスク・高リターンに

リスクは各資産の月次リターンの標準偏差、リターンは月次リターンの平均を、それぞれ年率換算しています。

※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

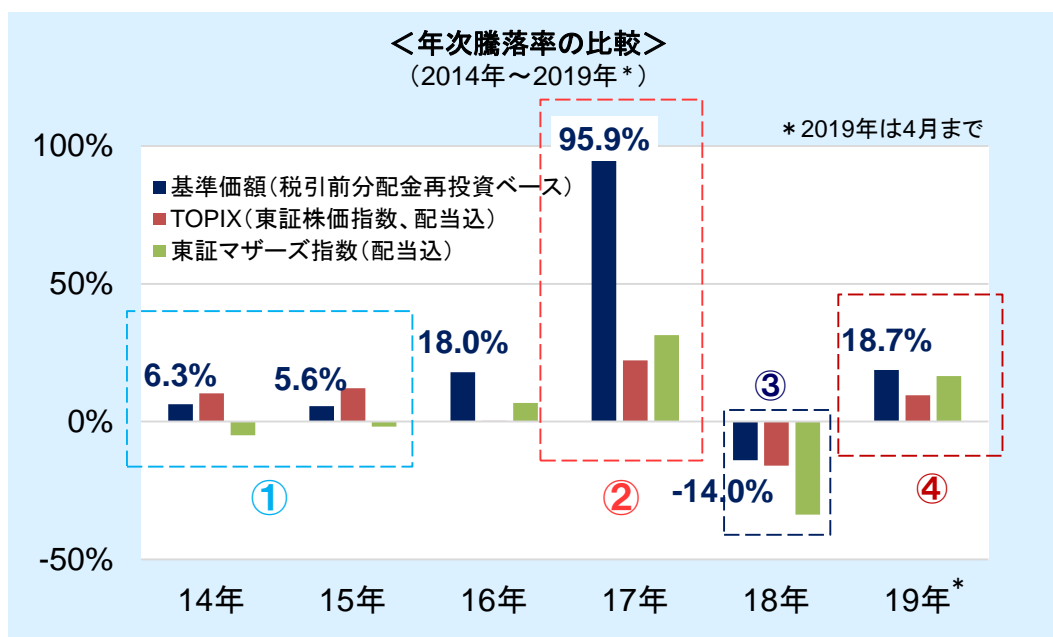
■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローバル・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポイント②

エンジェルジャパンによる徹底したボトムアップ・リサーチ

【ご参考】過去のパフォーマンスの比較

- 2014年～15年は円安が進んだことなどを背景に、大型株を中心に上昇傾向となるなか、一般に内需依存度が高いと考えられる新興株は相対的に出遅れる展開(下記グラフ①)となりました。
- 一方、2017年にかけてIPOの活況が続き、新興株市場が堅調に推移するなか、特に当ファンドの基準価額は徹底的な調査活動に基づく銘柄選別が奏功し、大きく上昇(下記グラフ②)しました。



【ご参考】足元のパフォーマンスについて

③2018年
米中貿易摩擦への懸念などから
株式市場が総じて下落

- 基準価額は銘柄選別などが奏功し、年初に大きくプラスとなりました。
- しかし、年末にかけて米中貿易摩擦への懸念などを背景に、株式市場が総じて下落するなか、基準価額も下落基調となりました。

④2019年1～4月
米中協議の進展期待などから
投資家心理が改善し反発

- 米中の貿易協議の進展期待の高まりや、両国の経済指標の改善に伴う景気減速懸念の後退などから、投資家心理が改善し、株式市場が反発しました。
- こうしたなか、銘柄選別なども奏功し、基準価額は大きく上昇しました。

※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

投資銘柄のご紹介と注目点



MS-Japan

士業・管理部門職に特化した 人材紹介ビジネスを展開

＜株価の推移＞

(円) (2016年12月15日～2019年4月26日)



- 士業(公認会計士や弁護士など)や、経理・人事などの管理部門の職種に特化した人材紹介ビジネスを展開。**職域を特化させることで、精度の高いマッチング、求人情報・求職者の効率的な獲得などを実現。**
- 求職者側につくアドバイザーと求人企業側につくアドバイザーが分業しながらも、両者が両側の動向を把握し、マッチングやコンサルタントを行なう、**質を重視した体制を築くことで、高い採用決定率を実現。**
- 管理部門職と士業がつながるサイトを新たに立ち上げており、効率的な求職者募集や広告配信をめざす。

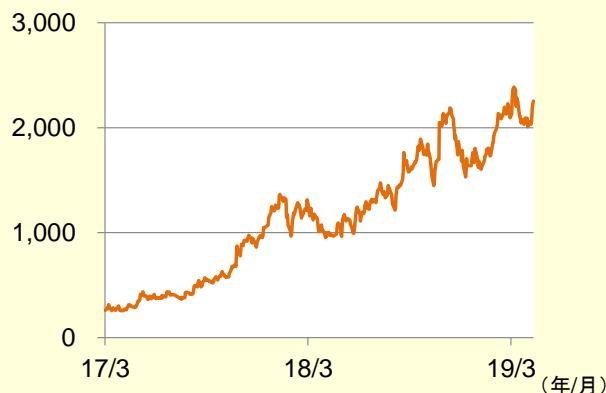


ジャパンエレベーター サービスホールディングス

高い技術力を持つ エレベーター保守会社

＜株価の推移＞

(円) (2017年3月17日～2019年4月26日)



- 大手主要機種にはほぼ対応し、**迅速・低価格でサービスを提供**する独立系のエレベーター保守会社。リニューアル需要の取り込みにも注力。
- さらに、**特許取得済の遠隔監視・診断サービス**を活用して故障の予兆をいち早く察知し、障害が発生する前段階での対応を可能としている。
- 加えて、今後は関西や東海などでのシェア拡大による成長加速をめざしている。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※写真はイメージです。

上記は、情報提供を目的として、2019年4月末時点の日興グローイング・ベンチャーファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、エンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

投資銘柄

投資銘柄のご紹介と注目点



ティーケーピー

貸会議室を中核とした
「空間再生流通事業」を展開

- 低稼働のオフィフロアやホテルの宴会場などを**低価格でまとめて借り上げ、小分け(時間貸し・一部屋単位)にして、貸会議室などとして賃貸**する事業を展開。総室数は2,000以上にのぼる。
- 単なる空間の提供にとどまらず、内製でのケータリングサービスや弁当の提供で、単価アップを図る。また、宿泊施設を併設し、平日は法人向け、週末は一般客向けとすることで、高稼働率を実現。



オープンドア

使い勝手の良さで人気を集める
旅行比較サイトを運営

- 日本最大級の旅行比較サイト「トラベルコ」を運営。約300社の旅行会社等と取引・提携し、ホテル予約、格安航空券、パッケージツアーなどあらゆる商品ジャンルをカバー。
- 比較対象の高いカバー率や低い手数料率を背景に、同じ条件であれば最安値の旅行商品を見つけられるとして、**価格と内容にシビアなF1層(20～34歳の女性)を中心にユーザー数が拡大**。



インソース

企業や官公庁向けの
研修事業を展開

- 独自の研修コンテンツと全国の拠点を強みとして、民間企業や官公庁、自治体などに対し、社会人向けの研修事業を展開。取引先は累計で27,000社以上(2019年3月末時点)に及ぶ。
- 蓄積した**膨大なコンテンツをモジュール化し、効率的に保管・活用**できることが強み。講師派遣型研修に加え、同社のセミナールームで行なう公開講座事業も強化し、多様なニーズに応える。



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※写真はイメージです。

上記は、情報提供を目的として、2019年4月末時点の日興グローイング・ベンチャーファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、エンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元の市場環境と助言方針について

～エンジェル日本・アセットマネジメントからのコメント～

いかなる環境下においても、個別直接面談調査を通じた
徹底的な銘柄厳選を継続

足元の「変化」は、新興企業にとってのビジネスチャンス

- 日本企業を取り巻く現状の経済環境をみるに、景気が急減速する可能性は低いと考えられます。実際に、最近の個別直接面談調査の中でも、経営者の方からは急速な事業環境の悪化を懸念する声は極めて少なく、むしろ前向きな意味で様々な変革点に差し掛かっているという意見を多く伺います。
- 例えば、人手不足や働き方改革などから、各企業は労働生産性を高めるべくIT投資の拡大や外部委託の促進などの新たな取組みが求められています。このほか、好不況の波とは別に、様々な分野の企業が事業構造の転換・変革に取り組んでいます。
- 経営者の方々も、こうした「変化」をビジネスチャンスとして前向きに捉えており、新興企業の成長機会が数多く生まれていると考えられます。

個別直接面談調査を通じて、2019年も高成長新興企業を厳選

- 市場が不安定な時期こそ、冷静に各社の潜在的な成長力を見極めることが重要と考えています。当社ではいかなる環境下でも、経営者に対する個別直接面談を中心に、企業を丹念に調査・分析して魅力的な成長企業を厳選する姿勢を貫いてきました。
- 2018年は延べ1,020社にわたる個別面談調査を実施しました。2019年も同様に、徹底した調査活動を通じて革新的な高成長新興企業を厳選し続けることこそが、中長期的なリターン獲得につながるものと信じています。

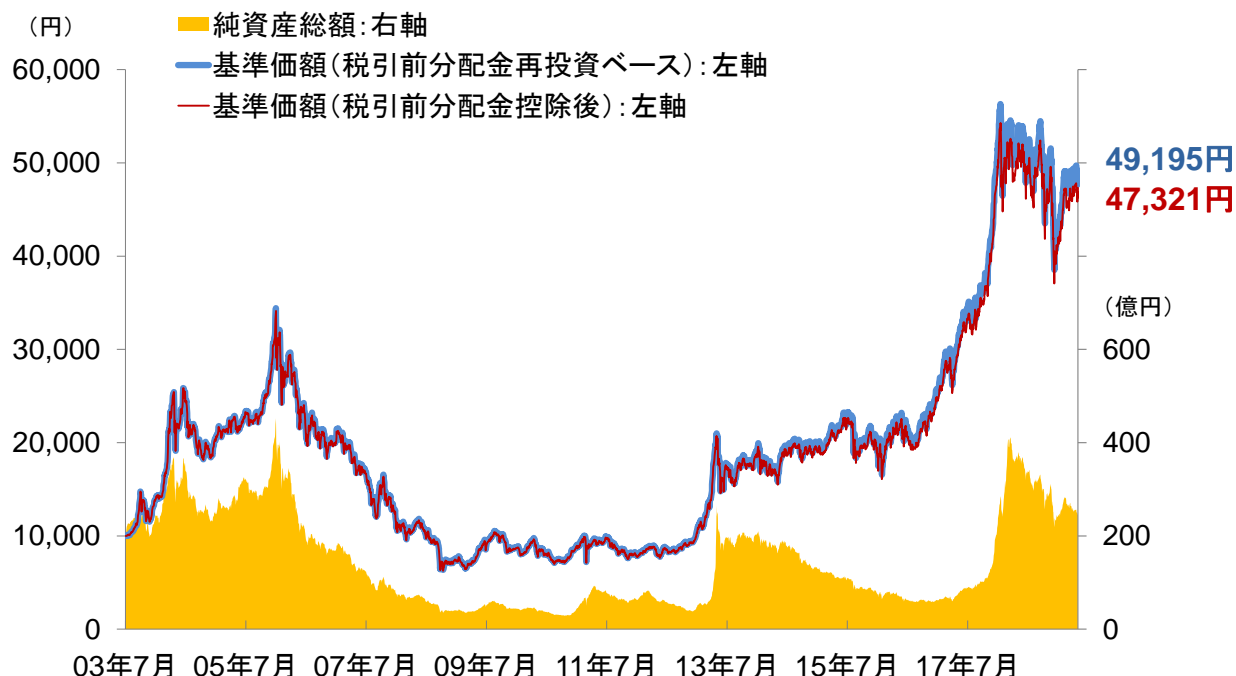
※上記は、「日興グローイング・ベンチャーファンド」のマザーファンドの投資顧問会社であるエンジェル日本・アセットマネジメントからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用実績とポートフォリオの内容

＜設定来の基準価額と純資産総額の推移＞

2003年7月18日（設定日）～2019年5月17日



※基準価額は、信託報酬控除後の1万口当たりの値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。
 ※基準価額（税引前分配金再投資ベース）は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜株式組入上位10銘柄＞

2019年4月末現在

（銘柄数：54銘柄）

	銘柄名	業種	比率
1	MS-Japan	サービス業	3.68%
2	ジャパンエレベーターサービスホールディングス	サービス業	3.65%
3	ティーケーピー	不動産業	3.62%
4	オープンドア	情報・通信業	3.60%
5	インソース	サービス業	3.56%
6	メニコン	精密機器	3.56%
7	カナミックネットワーク	情報・通信業	3.44%
8	ビジョン	情報・通信業	3.44%
9	ラクス	情報・通信業	3.40%
10	ミズホメディー	医薬品	3.34%

※「株式組入上位10銘柄」はマザーファンドの状況であり、比率は対純資産総額です。
 ※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 ※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【未上場株式などの組入リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お 申 込 み メ モ

商品分類	追加型投信／国内／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
信託期間	2023年7月18日まで(2003年7月18日設定)
決算日	毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

手 数 料 等 の 概 要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.24%*(税抜3%)以内</u> *消費税率が10%になった場合は、 <u>3.3%</u> となります。 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産 留保額	換金時の基準価額に対し <u>0.5%</u>

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率 <u>2.052%*(税抜1.9%)</u> *消費税率が10%になった場合は、 <u>2.09%</u> となります。
その他の費用・ 手数料	監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などが その都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することは できません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに
応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBc日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)